



たばたあずみ

Tel・Fax
550-6674



山根とみえ

Tel・Fax
550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax
558-9721

12月定例市議会

日本共産党市議団3人の一般質問

12月定例市議会は11月29日から開催され、議員の一般質問は30日から行われます。日本共産党市議団は市民との市政懇談会をはじめ、市民アンケート及び市政・生活相談などで寄せられた市民の声を3人で分担して一般質問を行います。

戸沢ひろゆき議員（11月30日（水） 4番目 午後）

(1) 武蔵引田駅周辺地区整備について

今年9月、都の都市整備局及び産業労働局との関係で合意に至らず、23年度末の線引き変更が難しくなってきた。下水道も計画がないこの地域のまちづくりについて問う。

(2) 農畜産業の地産地消の推進について

農畜産業の地産地消を推進するとともに、地域ブラ

ンドの育成をすすめていきたいと市長の所信表明にあった。ファーマーズセンターの改造計画を新年度はどう進めるか問う。

(3) サンショウウオの住める森づくりについて

自然環境を象徴するトウキョウサンショウウオをシンボルとして郷土の恵みの森事業を進めると所信表明でされたが、保存のために具体的手立てを求めて問う。

山根とみえ議員（11月30日（水） 7番目 午後）

(1) 安心して暮らせる福祉の充実について

市長の所信表明に「安心して暮らせる福祉の充実」とあった。①高齢者が安心して暮らせるよう高齢者の見守り、医療・介護、外出支援など具体的に問う。②保育園や学童保育の待機児、子育て支援の具体的な取り組みを問う。③医療の充実、健康増進、各種健康診査・検診の充実、阿伎留医療センターの充実について問う。

(2) 暮らしを守る施策の充実について

貧困と格差が広がる中、市民の所得は減少。若者を

中心に不安定雇用が増えている。雇用の確保、サラ金問題での相談が寄せられている。こうした相談に 대응するため「相談窓口」を開設し、市民の暮らしを守ることを求めて問う。

(3) 永田橋周辺の安全対策について

あきる野市の東の玄関口である永田橋周辺は、歩道が狭いため、歩行者や学童の登下校において非常に危険な状態である。周辺市民から切実な改善要望が寄せられている。永田橋周辺の砂利採石業者前の歩道の安全対策を関係機関に働きかけ、早急に対策を求め問う。

たばたあずみ議員（12月1日（木） 1番目 午前）

(1) ファミリーサポート事業について

有償ボランティアのファミリーサポート事業は、利用者に喜ばれている一方、8都道府県で大きな事故が15件発生している。①サービス提供会員への講習は十分か。②事故が起こった場合の責任の所在は。

(2) 原発事故に関する市の対応について

福島第一原発の事故の対応について、共産党市議団も再三要望をしてきたが、市がようやく測定箇所を広げることになった。①測定場所を増やした経緯と今後の対策

は。②国が決めている食品の暫定規制値は、国際基準からみても高すぎる。給食および農産物等に市独自の基準を設け、検査を行うべきではないか。

(3) 学校施設整備について

市内の小中学校を視察したが、施設・設備が老朽化している。①多くの学校が築40年を迎え、早急な改修が必要である。市の計画を問う。②夏の熱中症対策として、教室へのエアコンの設置を求める陳情が趣旨採択された。市は、都に補助金の延長を申し入れたと聞か、その後の状況を問う。